

LEON

レオン

必要なのは
"お金じゃなくてセンス"です!

2008 **10**
定価 780YEN(税込)

2008年10月1日発行 毎月1回 白黒7第8巻第10号 通巻84号 平成18年10月20日 3巻 雑誌 雑誌

究極、オヤジは スーツとデニム

あれやこれや
と言ったつて
その差が出るのは
この2つ!



"わかってる"貴兄と
ニキータのための極上時間
**目利きオヤジの
モテるコロガシデート**
新連載 定番こそSEXYの極み
**着回し上手は
「ライトグレー」ニット**

あくまでもカジュアル
ハズし技はさり気なく!

ブルゾンを着こなす際、もっとも注意したいのが首周りと腰回り。キメすぎないことが大事です。インナーのシャツが出しゃばったりしないこととデニムの腰回りが妙にキチッとすぎたりしないためにシャツをルーズに半分だけ出すのがミラノ風。



1
style

スエードブルゾン

濃い茶×スカイブルーが新鮮!

今秋のカジュアルアウターのトレンドの主流はブルゾン系が久々に登場の予感。基本は裏地なしのスエード一枚仕立てのものをジャストフィットで着るが、脇が少しキツイくらいで着て多少ムッチリした体のラインが見える感じが望ましい。その際シルクコットン等のストールで胸元にボリューム感を出し、首周りに大人の装いを感じさせることが大切。基本はデニムと茶のコーデなので、差し色は黒あるいは同色系の淡い色を合わせるのがコツですよ。

in MILANO

ミラノのファッション番長リーノさんが太鼓判

これで決まり! 今秋オススメ
お散歩コーデはこの3つ!

ご存じ「アルバザール」オーナーのリーノさん。最近は東京店のために来日する機会が増え以前よりも日本人のファッションに精通したご様子。今回はミラノのお店でこの秋イチ押し、デニムに合わせたお散歩コーデをひと足お先にお見せしちゃいます。

写真/木村金太 イラスト/橋本 聡



2
style

ジャケットコート

軽い素材感がトレンドのキモ!

元来、重〜いアウターのイメージであるコートが今季注目の軽量素材コットンレーヨンで、見事にカジュアルアウターの仲間入り。ジャケットを着ないでデニムとシャツでこなすのが今秋イチ押しのコーディネートです。



秋のコートは裏地なしが主流

とっても軽〜いコットンレーヨンはウインドブレーカー並みの保温力があるんです。その素材感をいかすために裏地無しがオススメ! さらに、首元にシルクコットンのスカーフを差し色として2本巻きすることでラグジュアリー感が保てますよ。

袖口は本切羽仕様でボタンを外しルーズに

こちらのコート、1枚仕立てで軽いってのが表のキモなんです。実は袖口が裏キモになっておりまして、なんと本切羽仕様で分かっている感ムンムンのお洒落上級者風。しかもそれをボタンをすべて外して着るのがリーノ流ハズし技の究極ですぞ。

3

style

コーデロイの ダブルブレストッド

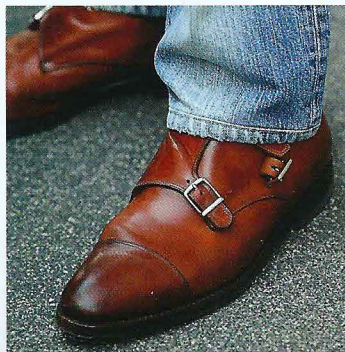
バブルな時代のアレとは
違いますから、これは!

日本でもバブル時代に一世を風靡した
ダブルブレストッドが、またまた
おしゃれJKとしてカムバック。
4ボタンにすることでトレンド感を出し
さらに、素材をコーデロイにすることで
カジュアルダウン。見事にデニムと
コーディネートできるアイテムとして
今秋、ミラノで流行必至です。



胸元にハンカチでなく あえてドライビンググローブ

これがリノ流の真骨頂!
かしまりやすいダブルのJKも
胸ボケのグローブ挿して、思いっきり
カジュアルダウン。ただし、グローブは
薄手の一枚仕立てを選ぶのがポイント。



足元の格調は守りながら
ハズしすぎない着こなしを
デニムとのコーデといっても、足元に
ブーツをもってくるようじゃ技がない。
ダブルモンクなどの格調のある靴を
もってくるのがお洒落上級者。
色はデニムに合わせた茶系がオススメ。

